

午後Ⅱ試験

問1

問1では、不動産販売会社の商談管理システムを題材に、データベースの物理設計について出題した。全体として正答率は高かった。

設問1では、テーブル及び制約の実装について出題した。(1)イ及びオでは誤答が散見された。業務処理に必要な関係演算に適したテーブル構造を設計するよう心掛けてほしい。(4)では、例外の特性を考慮しない解答が散見された。ロック待ちタイムアウトなどの例外の特性に応じた処理設計を心掛けてほしい。

設問2では、問合せに用いるメタデータを含めた問合せの設計について出題した。(1)サは完全外結合の結果の列値がNULLになることを理解できている解答を求めたが、誤答が散見された。関係演算についても正確な知識をもってほしい。

設問3では、バックアップ・リカバリについて出題した。(1)(b)及び(2)(b)の正答率が低かった。関連副問合せはUPDATE文でも利用できるのも、是非知っておいてもらいたい。(3)では、エクスポート機能に指定するテーブルの検索条件、インポート機能に指定するオプションに関する記述のない解答が散見された。本文中の状況記述、RDBMSの仕様、設問の指示をよく読んで解答するよう心掛けてほしい。

問2

問2では、中堅市販薬メーカーの製品物流業務を題材に、現状と問題解決のために変更した概念データモデルと関係スキーマ、設計変更後の参照先エンティティタイプについて出題した。全体として正答率は高かった。

設問1では、全体的に正答率は高かったものの、出荷指示^{こん}梱包明細と梱包実績のリレーションシップ及び対応する外部キーの正答率が低かった。業務がどのように連鎖しているか、業務の連鎖を外部キーとしてどのように実現しているかを注意深く読み取ってほしい。

設問2では、(1)の正答率は高かったが、(3)については不十分な解答が散見された。設計変更後の参照先エンティティタイプの役割を注意深く読み取り、影響するトランザクションのエンティティタイプを見極めてほしい。

全体的に、状況記述を丁寧に読み取れているものの、マスタとトランザクション間のリレーションシップや求められる属性の理解が不十分だったと思われる。注意深く検討する習慣を身に付けてほしい。また、概念データモデリングの対象領域全体を把握するために、全体のデータモデルを記述することが重要である。日常業務での実践の積み重ねを期待したい。